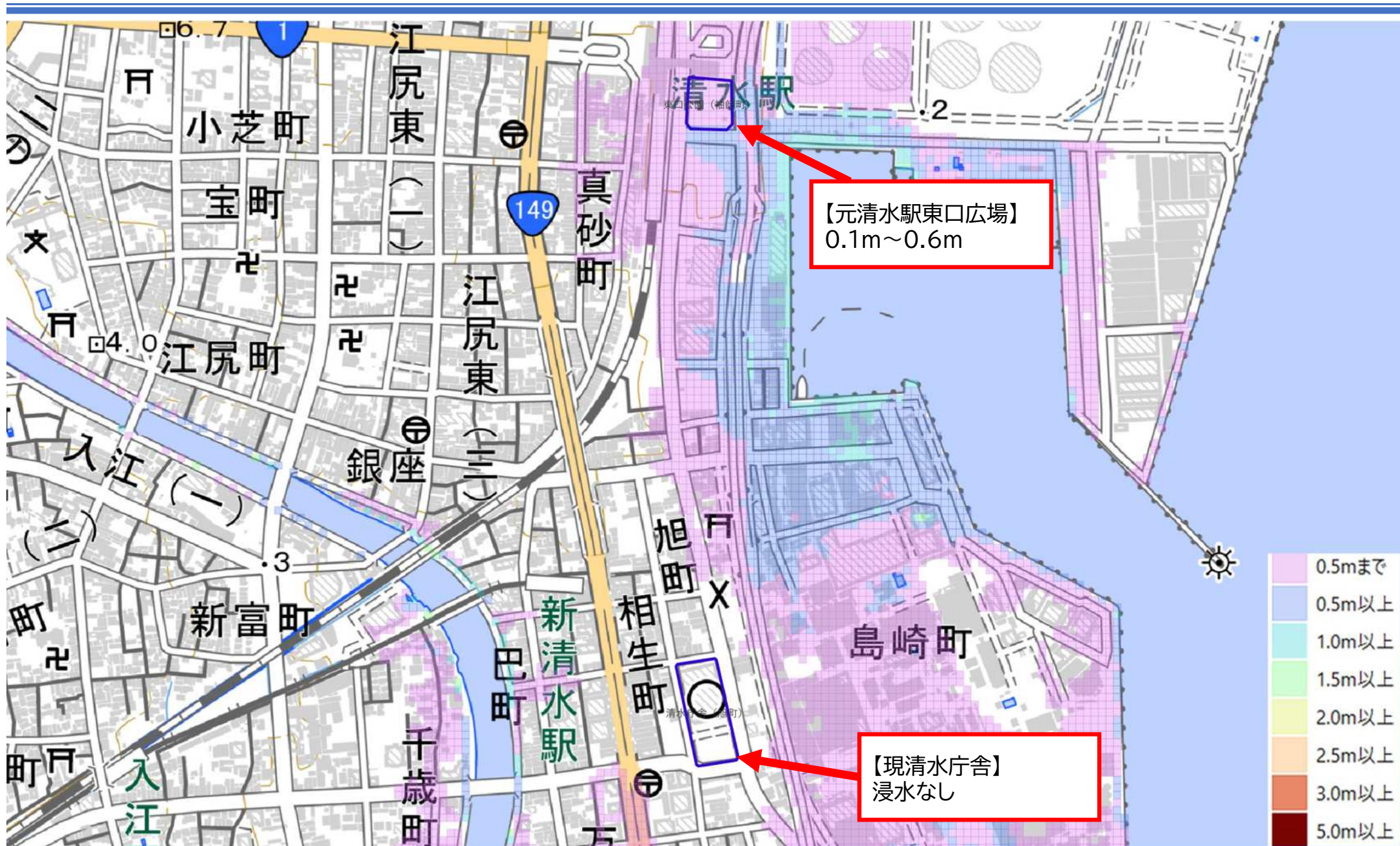


レベル1津波における浸水範囲・浸水深

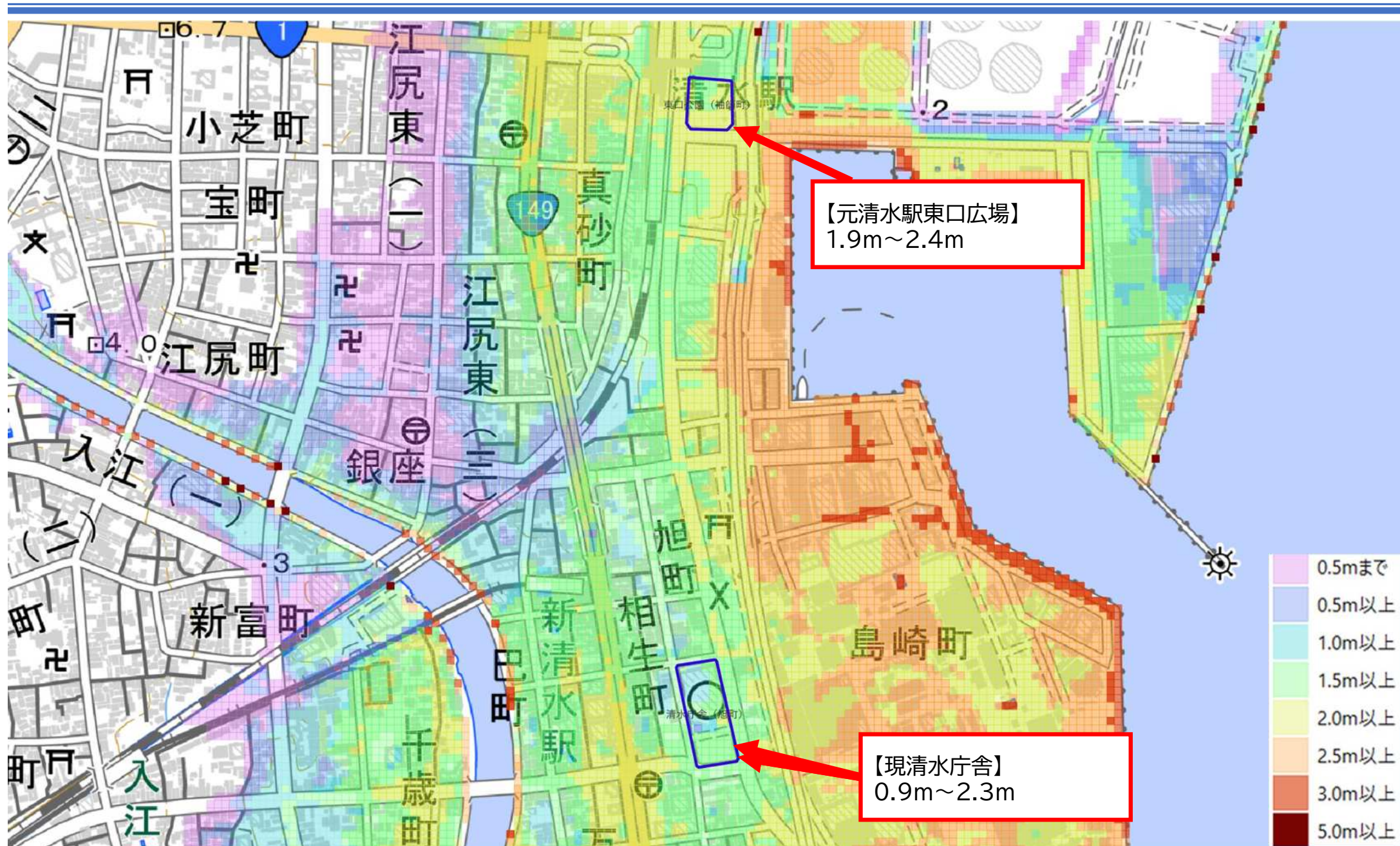
投影資料1

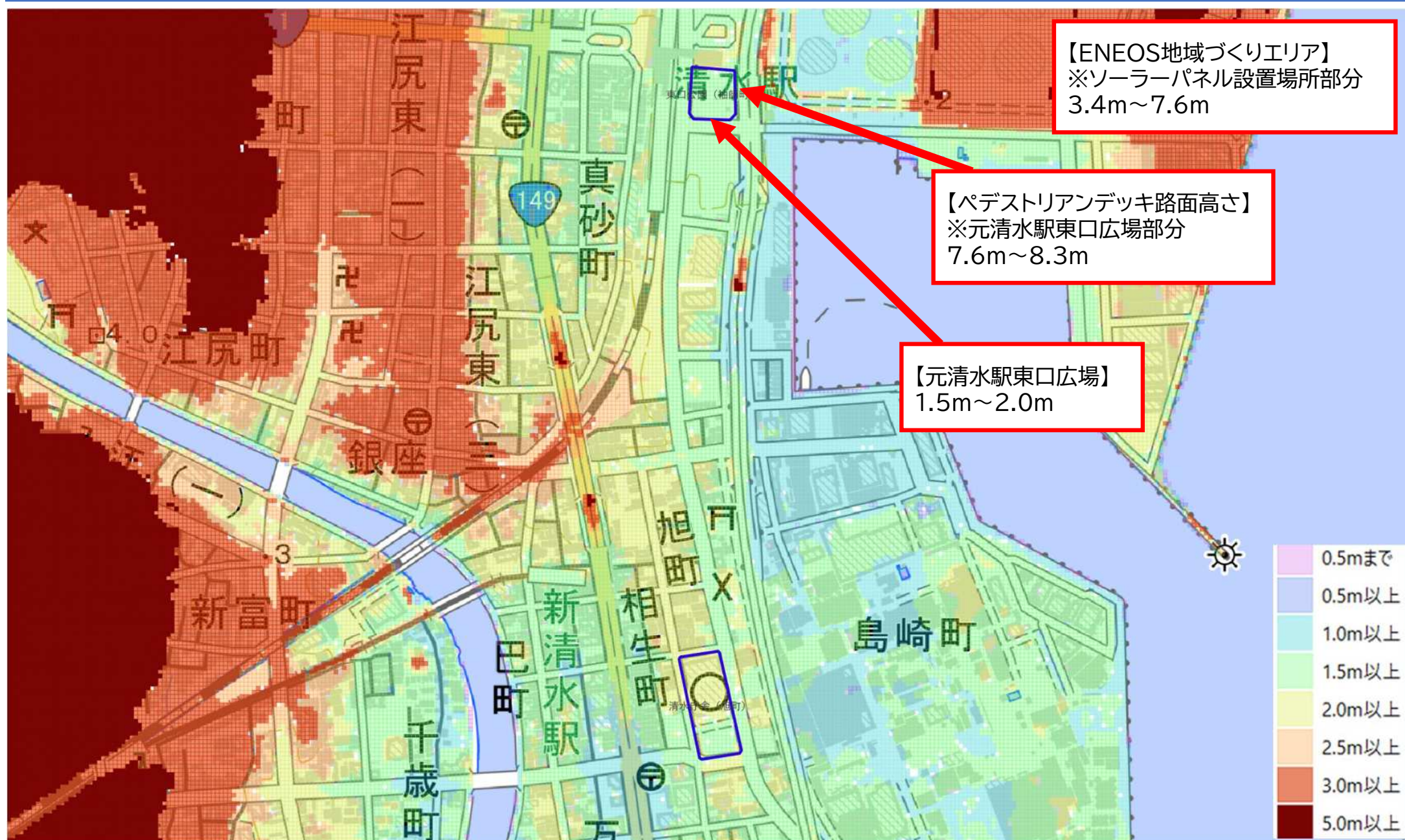


「静岡県第4次地震被害想定津波浸水(駿河トラフ・南海トラフ沿いのレベル1地震(5地震総合モデル))」をもとに静岡市作成 背景:地理院タイル(単色地図)

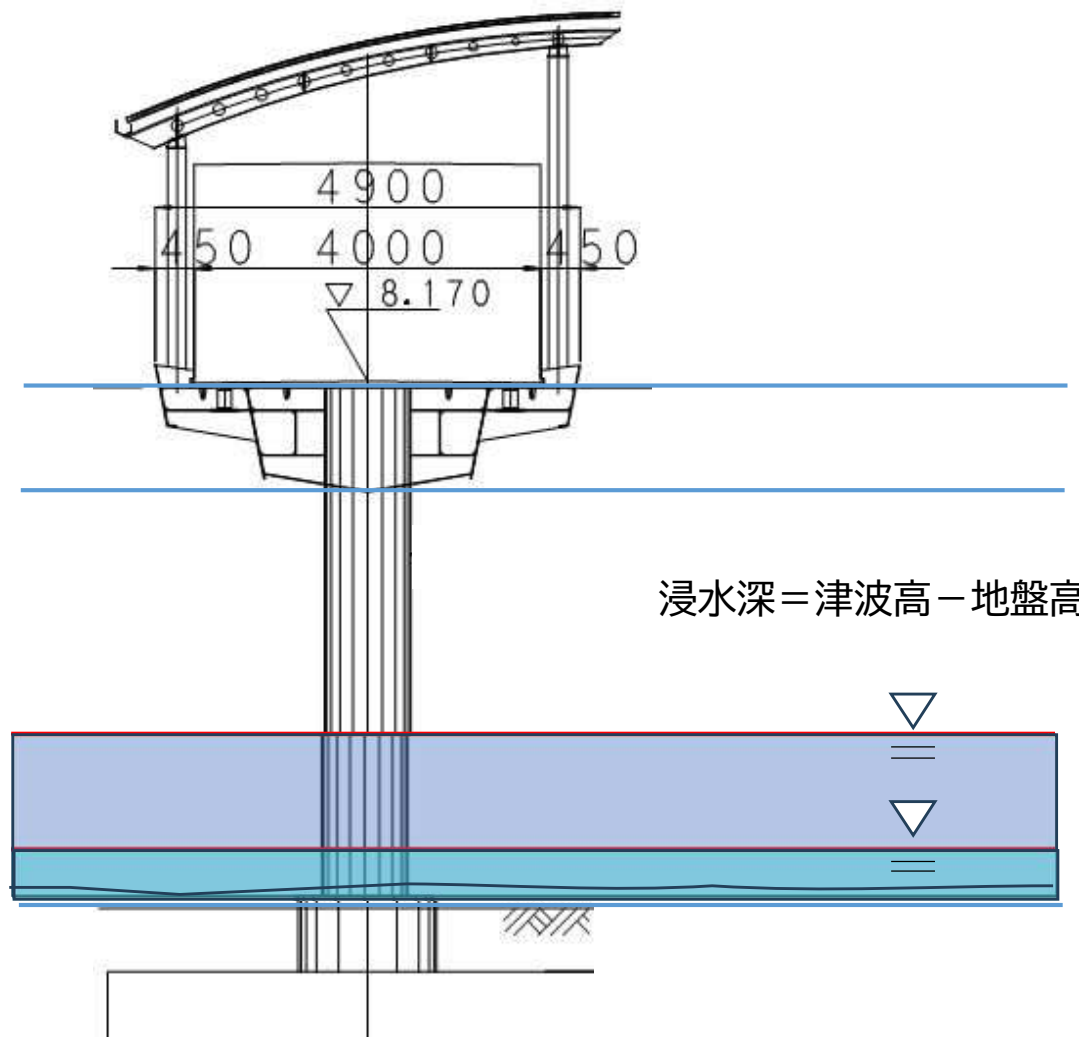
レベル2津波における浸水範囲・浸水深(基準水位)

投影資料1





(参考)ペDESTリアンデッキ(清水駅東口広場部分)と浸水深 イメージ図



浸水深 = 津波高 - 地盤高

ペDESTリアンデッキ通路面高さ
6.1m～6.8m (7.6m～8.3m T.P.)

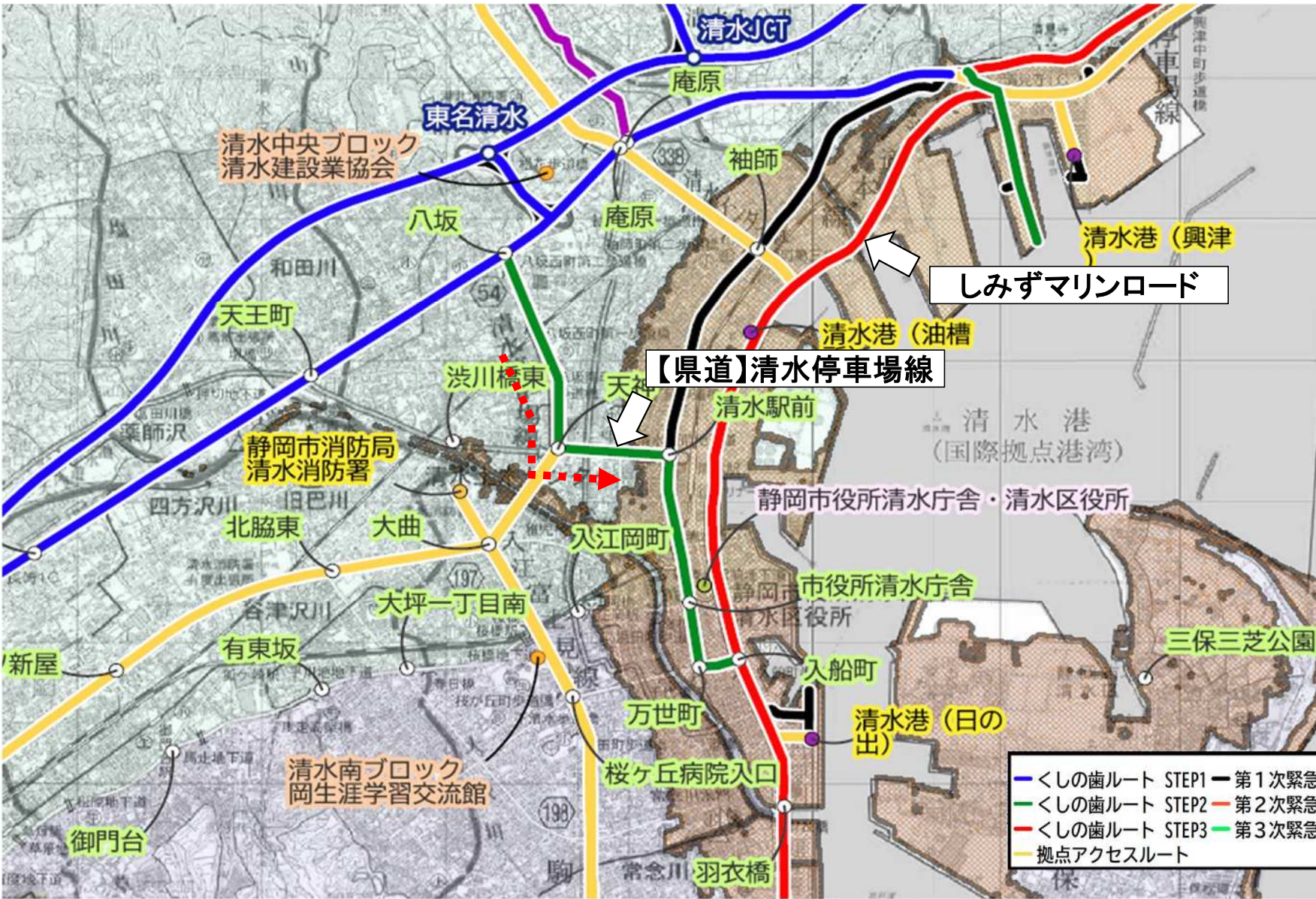
ペDESTリアンデッキ下部高さ
4.9m～5.6m (6.4m～7.1m T.P.)

レベル2 浸水深(基準水位)
1.9m～2.4m(3.9m～4.0m T.P.)

レベル1 浸水深
0.1m～0.6m(2.9m～3.0m T.P.)

地盤高(標高)1.5m～2.0m

投影資料2



■■■ 想定アクセスルート

24時間以内道路啓開

■ 48時間以内道路啓開

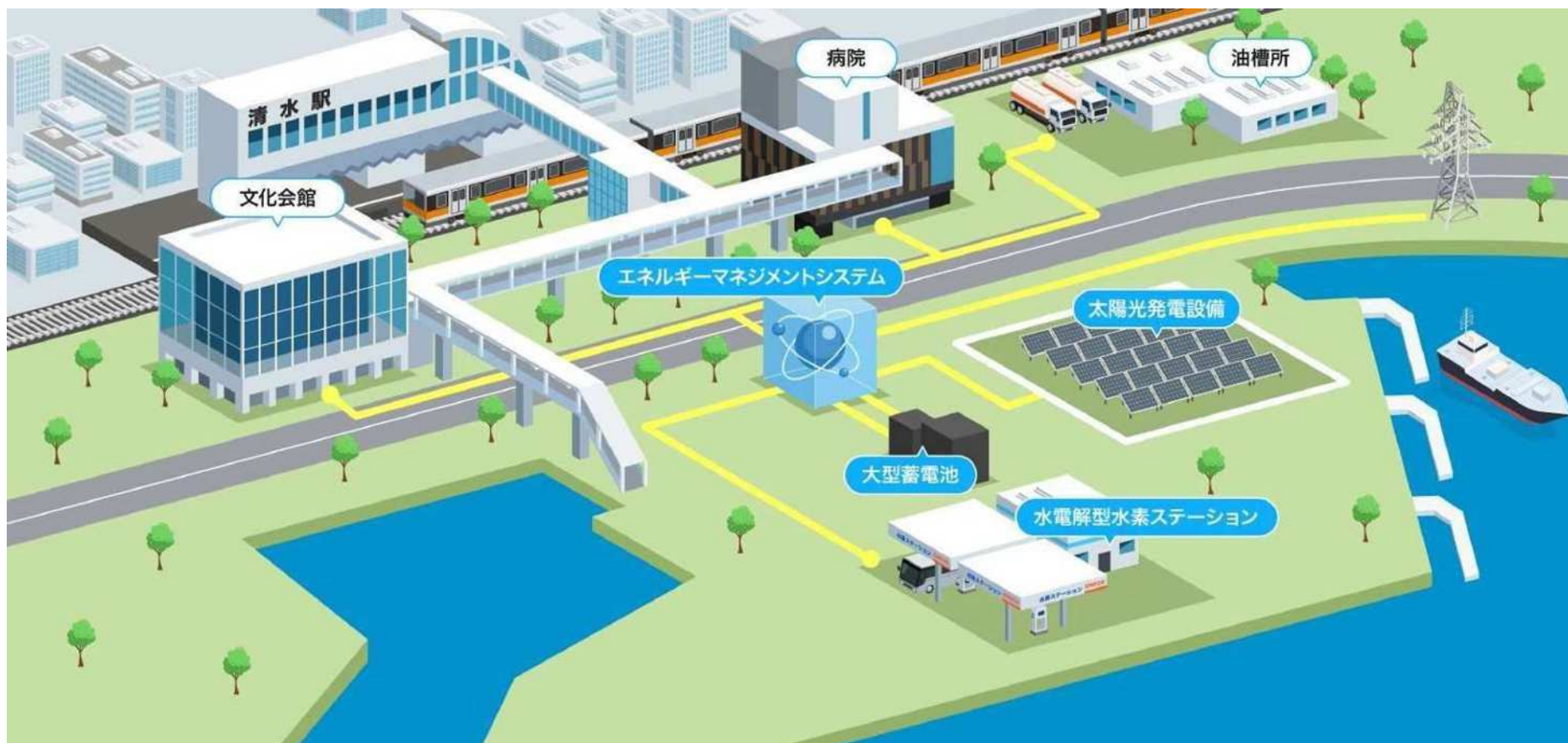
72時間以内道路啓開

■ くしの歯ルート STEP1 ■ 第1次緊急輸送路 ■ 孤立予想集落接続道路
■ くしの歯ルート STEP2 ■ 第2次緊急輸送路
■ くしの歯ルート STEP3 ■ 第3次緊急輸送路 津波浸水想定区域
■ 拠点アクセスルート

「静岡県津波災害警戒区域」を基に静岡市作成

ENEOSみらいコネクト 事業概要

ENEOSみらいコネクトは、太陽光発電設備、大型蓄電池、エネルギーマネジメントシステム（以下、「EMS」）、周辺施設への自営線、水電解型水素ステーション等で構成されています。自営線により送電された電力は、水素ステーションに設置された水電解型水素製造装置におけるグリーン水素製造にも活用されるとともに、EMSにより大型蓄電池・水電解水素製造装置等の各設備を最適に制御することで、電力の安定供給と再生可能エネルギーの地産地消を図ります。



（ENEOS Power株式会社公表資料より）